

多能工化養成研修

～多能工化が求められる背景と実践の手順&成功のポイント～

セミナーのねらい

生産現場では納期変更や飛び込み受注の要求に対応した柔軟な生産体制の構築が求められ、生産工程は少品種大量生産から多品種少量生産、変種変量生産、そしてセル生産方式へと変化しています。近年では働き方改革への対応として業務の平準化も急務になっている一方、多くの企業で熟練技術者の持つスキルやノウハウの技能伝承の遅れが問題となっています。これら課題に対する切り札が「多能工化」です。

このように多能工化は生産現場から始まり、現在ではサービス業を含めた多くの業種で取り組んでいます。

本研修では、多能工化の考え方や効果を理解した上で、多能工化を進めるための作業標準やスキルの見える化、維持管理のポイントについて演習を交えて学びます。

【研修の内容】

研修のねらい	基本項目	主な内容	演習
多能工化を理解し、生産現場で発生する問題を解決できる知識、技術を習得する。	■多能工化の意義と管理者の役割	・多能工化が求められる背景 ・多能工化のメリット、デメリット ・5S活動の必要性	・課題を通じた現場の改善演習 ・工程改善のためのグループ演習 ・自職場における現状把握と課題の確認
	■業務・スキルの現状把握と課題分析	・工程の見える化 ・スキルマップの作成 ・業務平準化の検討	
	■多能工化を成功させるためのポイント	・作業標準書の作成 ・維持管理と評価の方法	

開催要領

- 日時：令和5年11月22日（水）10：00～16：45（9：30～受付）
- 会場：とちぎ男女共同参画センター パルティ 304研修室
(宇都宮市野沢町4-1 TEL 028-665-7700)
- 対象者：製造業・サービス業の管理監督者・現場担当者・職場リーダー・業務改善担当者・組合幹部等（これから始めようとしている方、マンネリ化に悩む方）
- 定員 30名
- 参加費：会員 9,500円 一般 12,500円（昼食代、テキスト代、税込）
※昼食休憩時には名刺交換など有意義な交流ができます。

講師



ふくだ5S実践舎
代表 福田 隆 氏

1952年日光市生まれ、日光市在住。

国立小山工業高等専門学校工業化学科卒業。外資系大手製薬会社にて5Sを実践し、安全性・品質・生産性向上に大きな成果を上げた。製造業・サービス業・教育機関など200社以上の指導実績があるほか、中小企業大学校などのセミナー講師としても活躍中。

雑誌「工場管理者 2022 Vol.68 No.4」多能工化寄稿

参加要領

- 1 「参加申込書」に必要事項を記入の上、11月16日(木)までにFAXでお申込みください。
- 2 申込書が届きましたら、参加証をお送りします。届かない場合はご連絡ください。

※個人情報の取り扱いについて：参加申し込みによりご提供いただいた情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し保護の徹底に努めます。本事業実施に関して必要な範囲で参加者名簿等の資料を作成し、当日講師、参加者等の関係者に限り配布させていただきます。ただし、法令に基づく場合を除き個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

(問合せ先) (一社) 栃木県生産性本部 E-mail : tqa@oregano.ocn.ne.jp

住所 宇都宮市中央3-1-4 (栃木県産業会館内) TEL 028-637-1008

多能工化養成研修 (11/22) 参加申込書

FAX 028-638-8868 (栃木県生産性本部)

会社名 _____ 住所 〒 _____

(業種： _____)

連絡担当者 _____ TEL _____

E-mail _____ FAX _____

参加者氏名(ふりがな)	参加者の役職名	参加費 金 _____ 円 (開催日3日前までに、指定口座にお振込お願いします) ※当日現金持参希望の方はご連絡ください。 振込先：参加証にてご案内いたします。



QRコードからのお申込みもできます→